

平成 30 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ I 講座・教授
氏名 Name	岡本 真理
専門分野 Academic Field	ハンガリー言語社会論

主たる研究テーマ Principal Research Subject	20 世紀初頭ハンガリーの文学運動
<p>昨春に出版したハンガリー 20 世紀初頭の作家コストラニ・デジェーの短編 17 編の翻訳（『ヴォブルン風オムレツ コストラニ・デジェー短編集』未知谷 2018 年 4 月）の中で、解説論文として「コストラニ文学の普遍性——近代ハンガリーという特殊性のなかで——」と題して、コストラニ文学とその時代をとりまくハンガリー文学界の状況を分析した。これについて、「中欧の現代文学」と題するシンポジウム（2018 年 6 月 8 日東京大学）で発表した。また、さらに 20 世紀初頭ハンガリーの政治思想と諸文学団体の活動について、日本ウラル学会第 45 回研究大会（2018 年 6 月 30 日大阪大学）で発表を行った。現在は、同作家の代表作である長編小説『エシュティ・コルネール』の翻訳作業を進めている。</p> <p>また、科学研究費補助金「国家変容と国民形成運動に関する動態的研究：近代ハンガリーにおける「民衆」（基盤研究（C）平成 27～30 年度）の最終年度であり、2018 年 9 月にハンガリーで特に 20 世紀前半の文学に関わる資料収集と行うとともに、作家コストラニの故郷セルビアのスポティツァを訪れ、研究者交流と現地ハンガリー語新聞の取材で日本におけるハンガリー文学紹介の状況を紹介した。科研費に関しては、近代ハンガリーの社会変容と文学団体の興隆、衰退とそのイデオロギー的要因を 19 世紀前半から 20 世紀前半までの長い視点であらためてとらえ、ハンガリー文学が国家近代化にどのように意図的に関与し働きかけたかを整理し、「文学団体とカノン形成」の観点に絞って、次期科研費の申請に向けることとした。</p> <p>これ以外には、「日本の高等教育におけるハンガリー語教育」のテーマで本学部ハンガリー語専攻の 20 年あまりの歩みについて、学科カリキュラムや学年行事、教育スタッフ、教材開発、学生の学習モチベーションや留学、就職状況など、現状と課題についてハンガリー語でまとめ、『外国語教育のフロンティア 2』（2019 年 3 月末刊行予定）に執筆した。</p>	